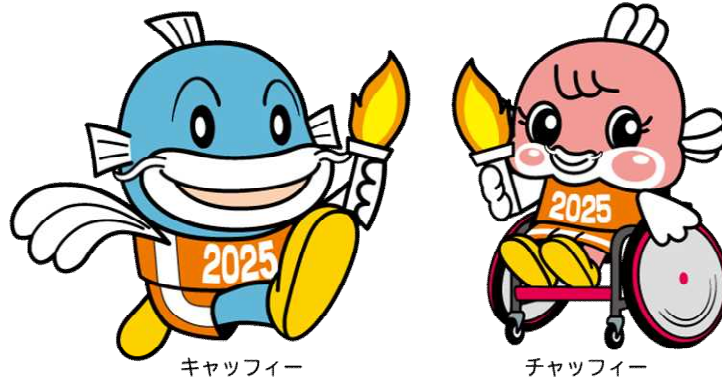


第 79 回国民スポーツ大会・第 24 回全国障害者スポーツ大会
滋賀県開催準備委員会

第 15 回総務企画専門委員会

会議資料



湖国の感動 未来へつなぐ

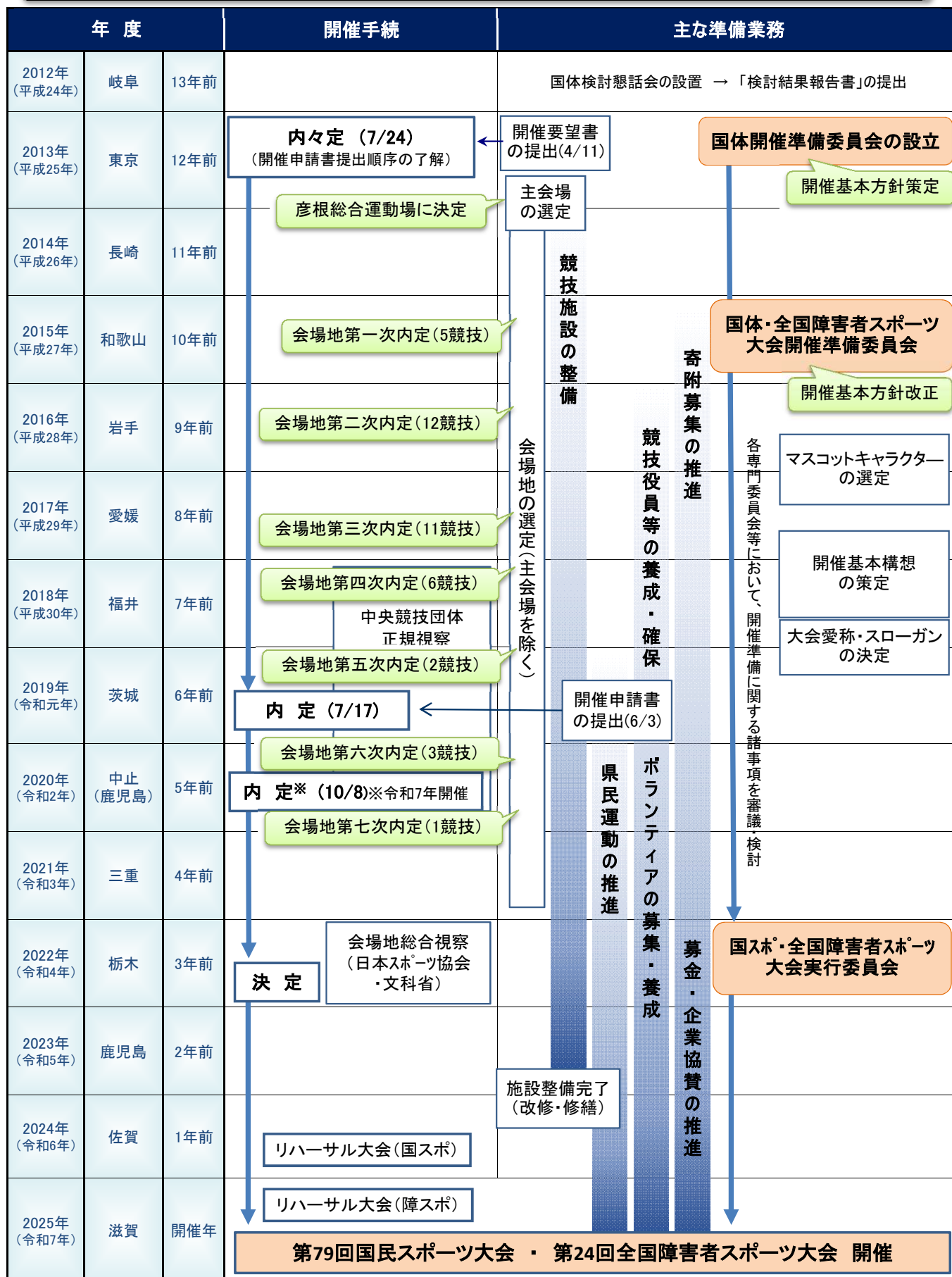
わたSHIGA輝く
国スポ・障スポ 2025

第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会

日時：令和3年6月7日（月）午後2時～午後3時30分
会場：大津合同庁舎7－A会議室

第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会の令和3年度の取組について

1 開催準備スケジュール（概要）



2 開催準備にかかる令和3年度の主な取組

開催準備委員会の運営

- ◆ 総会（1回）、常任委員会（2回）、専門・特別委員会（各1～3回）の開催

若い世代の意見を反映

- ◆ 小学生から大学生世代が委員の「子ども・若者参画特別委員会」において、開催準備やスポーツ振興等について調査・提言活動を実施する。

募金の推進

- ◆ 「募金推進計画」に基づき、募金を推進する（街頭募金、イベント・大会とのタイアップ、企業への寄附依頼等）とともに、「募金・協賛推進特別委員会」において年度実績の確認、次年度の実施計画を検討する。

広報・県民運動の展開

- ◆ 両大会マスコットキャラクター・愛称・スローガンを活用した様々な広報活動を展開するとともに各種イベントで啓発を行い、大会広報と機運醸成を図る取り組みを進める。

中央競技団体正規視察の実施

- ◆ 各会場地における正式競技・特別競技の開催準備に資するため、平成30年度から順次中央競技団体の会場地視察を受け、会場施設等の整備、競技運営等についての具体的な指導助言を得る。

競技会場地の選定

- ◆ 国スポ開催にあたり、競技基準を満たすための大規模な仮設が必要な競技等について、仮設方法やその費用の算定を行うことで、効率的な会場設営を行うための基礎資料を整える。

競技運営にかかる検討

- ◆ 引き続き、各競技団体が実施する役員養成事業に対する補助を行うとともに、開催に必要な競技用具の確保に向けた計画や競技運営にかかる役員編成等を検討する。

障スポ特有の準備

- ◆ 引き続き、競技役員の養成を行うとともに、資格審査など競技運営に必要な準備について検討を始める。
- ◆ 引き続き、両大会に必要な手話・要約筆記ボランティアの養成事業を行う。
- ◆ 選手の介助等を行う選手団サポートボランティアの確保に向けて、県内の大学・専門学校に向けて、協力依頼や障スポ大会の視察を行う。

輸送・交通にかかる検討

- ◆ 大会開・閉会式の輸送計画策定に向けて、調査を実施する。

宿泊・衛生にかかる検討

- ◆ 大会開催に向けて、配宿計画作成に向けた準備や各種衛生対策要項の検討を行う。

式典・会場にかかる検討

- ◆ 両大会の開・閉会式などの式典内容や開・閉会式会場仮設施設整備について検討を行う。

警備・消防にかかる検討

- ◆ 「警備・消防防災基本計画」の検討を行い、大会開催時の警備・消防業務の準備を行う。

事務局費

- ◆ 会計年度任用職員経費、職員旅費、事務用品購入費等

市町競技施設整備費補助

- ◆ 競技会場となる市町立施設の整備に要する経費に対する補助を実施。

第 79 回国民スポーツ大会・第 24 回全国障害者スポーツ大会開催基本構想の進捗状況

1 開催基本構想とは

両大会の開催準備および大会運営の取組や両大会終了後のレガシー創出の方向性を取りまとめた「開催基本構想」を令和元年 5 月に策定したもの。両大会の一年延期に伴い、開催年にかかる記載などについて、令和 3 年 3 月に一部改正。

2 開催基本構想の進行管理について

毎年度、開催基本構想の進行状況等について、把握し、検証する。

進捗状況の把握結果は、大会専用ホームページで公表し、進捗状況や課題等を広く情報共有するとともに、今後の開催準備や大会運営の検討に活用するものとする。

3 開催基本構想の進捗状況（概要）

令和 2 年度における主な取組の進捗状況は以下のとおり。

（１）『実施目標 1 滋賀をスポーツで元気にする大会』に向けた取組

＜主な取組＞

- ・県民が参加できるデモンストレーションスポーツやオープン競技を選定した。

デモスポ (国スポ)	<p>【第一次内定分】 9 競技</p> <p>スポーツ拳法(大津市)、ウォーキング(近江八幡市)、ノルディック・ウォーク、インディアカ、スポーツウエルネス吹矢(以上、草津市)、スローイングビンゴ、スポーツチャンバラ(以上、栗東市)、ソフトバレーボール(甲賀市)、里湖で地域を結ぶウォーキング(高島市)</p> <p>【第二次内定分】 10 競技</p> <p>スリースマイルゴルフ、百人一首競技かるた、ラジオ体操第 3 (初代・二代目)(以上、大津市)、ユニカール(長浜市)、ビリヤード(栗東市)、カローリング(甲賀市)、スポーツ鬼ごっこ(野洲市)、キンボール(湖南市)、フットサル、ユニホック(米原市)</p>
オープン競技 (障スポ)	<p>【第一次内定分】 3 競技</p> <p>スポーツウエルネス吹矢(大津市)、知的障害者バドミントン(彦根市)、ゴールボール(守山市)</p>

- ・若い世代の興味・関心が高まるよう両大会に関する情報を SNS で発信した。
- ・寄附に対する感謝状贈呈式、紺綬褒状伝達式を実施し、ホームページに掲載するほか、報道機関への資料提供を実施した。

【SNSでの発信（インスタグラム）】



【企業からの寄附（感謝状贈呈式等）】



＜今後の取組・課題＞

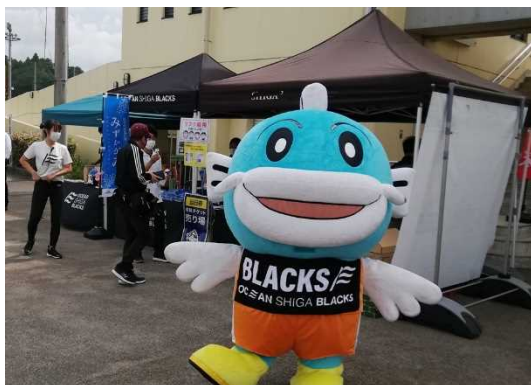
- ・イベントでのスポーツ体験において、体験可能なスポーツの充実化を図る必要がある。
- ・競技会場や競技の魅力等を周知し、県民のスポーツへの関心を高める必要がある。
- ・子ども・若者参画特別委員会の提言（『体験会運営の心得』、『マイスポーツを見つける6カ条』）を情報発信する必要がある。

（2）『実施目標2 滋賀の若者や女性が主体的に関わる大会』に向けた取組

＜主な取組＞

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により子ども・若者参画特別委員会における調査研究活動は実施できなかったが、第1期生～第6期生を対象に「魅力的な広報グッズを作ろう!!」をテーマとしてアンケート調査を実施した。
- ・女性の両大会への参加意欲や関心を高めるため、子ども連れの家族が多く訪れるショッピングモール等のイベントでの広報活動や比較的女性の利用が多い施設（郵便局）等にポスターを掲示するなど両大会の啓発を行った。

【イベントでの啓発】



【ショッピングモールでの啓発】



＜今後の取組・課題＞

- ・コロナ禍における子ども・若者参画特別委員会の調査研究活動を見直す必要がある。
- ・子ども・若者、女性に向けた情報発信内容の検討や、令和3年度の開催決定イベントに向けて子ども・若者、女性の関心を集める企画を検討する必要がある。
- ・国体に出場・帯同する人で、小学生以下の子どもがいる女性アスリート・指導者に対する支援を行う必要がある。

（３）『実施目標３ 県民総参加でつくり、「滋賀の力」を伸ばす大会』に向けた取組

＜主な取組＞

- ・県民が両大会開催を実感し、参加・協力できるよう、開催競技を県内の様々な地域で開催することとし、会場地選定を実施した（国スポ正式競技・特別競技・公開競技・デモスポ、障スポ正式競技・オープン競技）。
- ・花いっぱい運動における推奨花の選定やイメージソングの制作を行った。
- ・県民運動の内容を分かりやすく紹介した「県民運動ガイドブック」を作成した。
- ・式典の実施に関する方向性について定めた式典基本方針を策定した。
- ・ホームページや SNS による情報発信、イベントでの周知活動やモザイクアートポスター作製、ラッピングバス・トレインの運行、駅階段広告等の機運醸成の取組を実施した。
- ・寄附募集についてインターネット広告や広報誌、新聞広告等の媒体を活用し情報発信した。

【花いっぱい運動（推奨花の一例：サルビア）】



【花いっぱい運動（推奨花の一例：ニチニチソウ）】



【ラッピングトレイン】



【インターネット広告】



2025年に向かって躍進!! | 2025年、滋賀県で国スポ・障スポ開催! 次世代アスリートのために支援をお願い...

滋賀県 国スポ・障スポ大会課

＜今後の取組・課題＞

- ・会場地が未決定の競技について引き続き調整を進める必要がある。
- ・式典、警備・消防にかかる計画等の策定を行うほか、企業協賛制度の構築などを進める必要がある。
- ・両大会の認知度向上に向けて効果的な情報発信を行う必要がある（令和２年度：39.9%）。

（４）『実施目標４ 滋賀の魅力を再発見し、地域の活性化やビジネスにつなげる大会』に向けた取組

＜主な取組＞

- ・（再掲）県民運動の内容を分かりやすく紹介した「県民運動ガイドブック」を作成した。
- ・大会を契機に滋賀の文化等を県内外に発信すること等を目的とした大会文化プログラムの実施に向けて「文化プログラム基本計画」を策定した。

＜今後の取組・課題＞

- ・県民運動アクションプログラムに基づくおもてなしや大会文化プログラムによる滋賀の魅力発信、宿泊関係の取組等を推進する必要がある。
- ・観光・観戦ガイドブックの作成等により、様々なツーリズムを提案する必要がある。
- ・大会広報誌等により競技会場地や競技の魅力等の紹介を行う等、誘客やスポーツ参加人口の増加につながるような広報を推進する必要がある。

（５）『実施目標５ 滋賀の子が、滋賀で育ち、滋賀で活躍する大会』に向けた取組

＜主な取組＞

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、年度当初に計画どおり強化練習等が実施できない状況となったが、各競技団体において当初事業計画の基本方針に沿うべく競技力の向上に努めた。

＜今後の取組・課題＞

- ・「滋賀県競技力向上基本計画」の中で令和３年度以降の４年間を「躍進期」と位置付けており、競技団体が行う目標達成に向けた具体的な強化計画の構築および事業の実施に対して必要なサポートを行うとともに、効果的に支援する必要がある。

（６）『実施目標６ 滋賀の未来に負担を残さない大会』に向けた取組

＜主な取組＞

- ・先催県の情報やノウハウを収集し、業務の効率化を図ったほか、競技用具の共同購入や先催県からの有償譲渡について検討を行った。
- ・既存施設の活用を基本とした上で、移転・改築等が必要な施設については施設整備を推進した。
- ・施設整備を活用用途とする寄附募集を実施した。

<今後の取組・課題>

- ・引き続き先催県の情報やノウハウを収集し、準備活動の業務効率化を図るほか、競技用具の共同購入等の検討を進める必要がある。
- ・引き続き施設整備を進めるとともに、寄附募集をより一層推進する必要がある。
- ・環境配慮の取組として、CO₂排出削減や県民運動におけるクリーンアップ運動、環境意識の醸成を図るための情報発信について検討する必要がある。

(7) 『実施目標7 すべての人がともに支え合う滋賀を目指す大会』に向けた取組

<主な取組>

- ・開催準備・大会運営に係る基本方針・計画等を両大会共通のものとして策定した。
- ・あらゆる広報媒体で両大会共通の情報発信を実施した。
- ・「一体的な開催」について他の開催県と意見交換を行った。
- ・全国障害者スポーツ大会の出場を目指すチームや個人選手に対し、競技団体が行う普及・強化事業への支援を実施した。
- ・市町の行う競技会場施設のバリアフリー化のための整備事業を市町競技施設整備費補助金の補助対象に追加し、令和2年度から市町に対して補助を行った。
- ・障害者団体等に協力いただき、障スポの競技会場のバリアフリー調査を実施した。
- ・関係団体が参画する「手話・要約筆記ボランティア養成連絡会議」を設置し、手話サークル・要約筆記サークルにかかる実態調査や啓発セミナーの開催など、養成に向けた取組を開始した。

【バリアフリー調査】



【手話・要約筆記ボランティア養成】



<今後の取組・課題>

- ・引き続き、方針・計画等は原則としてすべて両大会の視点で検討を行い、両大会共通のものとして策定するほか、一体的な情報発信を行う必要がある。
- ・市町競技施設整備費補助により市町立競技会場施設におけるバリアフリー化を促進する必要がある。
- ・関係行事等の工夫による国スポ・障スポの一体的な開催を検討する必要がある。

第79回国民スポーツ大会 正式競技 開催予定施設名の変更について

番号	競技名(種目)	市町名	開催予定施設名	
			(変更前)	(変更後)
1	ハンドボール	彦根市	(仮称)彦根市新市民体育センター	彦根市スポーツ・文化交流センター
	弓道			
2	ボート	大津市	滋賀県立琵琶湖漕艇場	関西みらいローイングセンター(滋賀県立琵琶湖漕艇場)

- (理由)
- 1 施設の正式名称が決定したことに伴う変更
 - 2 ネーミングライツの導入に伴う変更

第24回全国障害者スポーツ大会 オープン競技 開催予定施設名の変更について

番号	競技名(種目)	主管団体名	市町名	開催予定施設名	
				(変更前)	(変更後)
1	知的障害者バドミントン	スペシャルオリンピックス日本・滋賀	彦根市	(仮称)彦根市新市民体育センター	彦根市スポーツ・文化交流センター

(理由) 施設の正式名称が決定したことに伴う変更

第 79 回国民スポーツ大会・第 24 回全国障害者スポーツ大会
の全体会期について

1 検討スケジュール

- 第 79 回国民スポーツ大会・第 24 回全国障害者スポーツ大会について、令和 7 年（2025 年）へ延期となったため、改めて会期案（開会式から閉会式までの日程案）を決定する必要がある。
- 開催 4 年前（令和 3 年夏頃）に国スポ全体会期案 3 案を日スポ協に提出し、開催 3 年前（令和 4 年 7 月）に国スポ全体会期が決定。この決定を踏まえて、文科省・日障協に障スポ全体会期案を提出し、障スポ全体会期が決定。

時期		概要	
開催 5 年前 （令和 2 年度）	11～12 月	○市町・競技団体・関係機関への意見照会	
	令和 3 年 1～2 月	○意見照会結果を踏まえて検討	
	3 月	○日スポ協・日障協と事前協議 （国スポ全体会期 3 案、障スポ全体会期 2 案）	
開催 4 年前 （令和 3 年度）	6 月 7 日	○開催準備委員会 総務企画専門委員会 （国スポ全体会期 3 案、障スポ全体会期 2 案）	
	8 月 3 日	○開催準備委員会 常任委員会 →国スポ全体会期 3 案、障スポ全体会期 2 案の決定	
		○日スポ協へ国スポ全体会期 3 案を提出	
	秋頃（国体後）	○日スポ協は宮内庁と協議開始	
開催 3 年前 （令和 4 年度）	令和 4 年春頃	○日スポ協が会期案を 1 案に絞り込み	
	6 月	○日スポ協国体委員会 →全体会期の内定	○国スポ全体会期を踏まえた 障スポ全体会期 2 案を、文科 省・日障協に送付 ○文科省が宮内庁と協議
	7 月	○日スポ協理事会 →全体会期の決定	○文科省・日障協が障スポ全 体会期を承認

（参考（令和 6 年の開催を前提に決定した全体会期案））

国民スポーツ大会

第 1 案 令和 6 年（2024 年）10 月 5 日（土）～10 月 15 日（火）

第 2 案 令和 6 年（2024 年）9 月 28 日（土）～10 月 8 日（火）

第 3 案 令和 6 年（2024 年）9 月 29 日（日）～10 月 9 日（水）

全国障害者スポーツ大会

第 1 案 令和 6 年（2024 年）10 月 26 日（土）～10 月 28 日（月）

第 2 案 令和 6 年（2024 年）11 月 9 日（土）～11 月 11 日（月）

2 国スポ全体会期の検討

9月											10月											
20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
			秋季皇霊祭 秋分の日																		大阪・関西万博閉会 スポーツの日	
国スポ候補①																						
	国スポ候補②																					
						国スポ候補③																
							国スポ候補④															
											国スポ候補⑤											
											国スポ候補⑥											
																			神嘗祭		上皇后陛下 誕生日	

(1) 国スポ全体会期の候補

- ・国スポ会期は、「9月中旬から10月中旬までに11日間」（国民体育大会開催基準要項）。
- ・皇室行事^{※1}と開・閉会式の重複を避ける、ブロック大会から本大会までの間隔、会期前競技の開催期間^{※2}の確保、などの点を考慮した上記会期候補を検討。

※1：秋季皇霊祭、神嘗祭、上皇后陛下誕生日祝賀会の当日・移動日（前日・翌日）を避ける

※2：9月中旬の水泳等

(2) 6案（国スポ候補①～⑥）からの絞り込み

- ・関係団体（競技団体、市町、県）の行事に配慮するため、意見照会を実施。
- ⇒国スポ候補①、②は12の関係団体より支障がある旨の意見あり。
- ⇒①、②は採用しないこととする。
- ⇒国スポ候補③、④は2の関係団体より、⑤は6の関係団体、⑥は7の関係団体から支障がある旨の意見あり。
- ⇒③、④を採用する。
- ⇒国スポ候補⑤、⑥について、⑥は日曜日の開会式で会期中の休日が少ない。
- ⇒⑤を採用する。

日本スポーツ協会に提出する3案は以下とする。

国スポ会期案1 9月27日（土）～10月7日（火）

国スポ会期案2 9月28日（日）～10月8日（水）

国スポ会期案3 10月4日（土）～10月14日（火）

(3) 3案（国スポ会期案1～3）における優先順位付け

- ・支障がない会期であることを最優先し、次に会期中の休日が多いことを優先する。

優先順位 1	国スポ会期案1	9月27日（土）～10月7日（火）
優先順位 2	国スポ会期案2	9月28日（日）～10月8日（水）
優先順位 3	国スポ会期案3	10月4日（土）～10月14日（火）

[illegible]

- ・ 障スポ会期は、「国スポ開催直後を原則として３日間開催」（全国障害者スポーツ大会開催基準要綱）。
- ・ 国スポ候補を踏まえたうえで、皇室行事（神嘗祭、上皇后陛下誕生日祝賀行事）と重複をさけた上記の障スポ候補について検討。

- ・関係団体（競技団体、市町、県）の行事に配慮するため、意見照会を実施。
 - ⇒国スポ会期案１～３の場合、障スポ候補①は会期が重複する。
 - ⇒①は採用しないこととする。
 - ⇒令和７年１０月１３日（月）は大阪・関西万博閉会日であり、会期が重複することによる輸送交通、警備、報道面での影響を考慮し、同時開催は避ける。
 - ⇒②は採用しないこととする。
 - ⇒毎年１１／３（文化の日）にひこねお城まつりが開催。来場者数（９８，０００人）や交通規制を考慮すると、障スポとの同時開催は困難。※今年度で既に６７回の伝統行事
 - ⇒④は採用しないこととする。

障スホ会期案2 11月8日(土)~11月10日(月)

優先順位 2 障害スポーツ会期案 2 11月8日(土)~11月10日(月)

第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会全体会期(案)一覧

月日	曜日等	皇室行事・ 国内行事等	国スポ会期(第1案)		国スポ会期(第2案)		国スポ会期(第3案)	
			国スポ(案)	障スポ(案)	国スポ(案)	障スポ(案)	国スポ(案)	障スポ(案)
9月27日	土							
9月28日	日							
9月29日	月							
9月30日	火							
10月1日	水							
10月2日	木							
10月3日	金							
10月4日	土							
10月5日	日							
10月6日	月							
10月7日	火							
10月8日	水							
10月9日	木							
10月10日	金							
10月11日	土							
10月12日	日							
10月13日	月	スポーツの日 大阪・関西万博閉会						
10月14日	火							
10月15日	水							
10月16日	木							
10月17日	金	神嘗祭						
10月18日	土							
10月19日	日							
10月20日	月	上皇后陛下誕生日						
10月21日	火							
10月22日	水							
10月23日	木							
10月24日	金		(国スポとの間隔17日間)		(国スポとの間隔16日間)		(国スポとの間隔10日間)	
10月25日	土			①		①		①
10月26日	日							
10月27日	月							
10月28日	火							
10月29日	水							
10月30日	木							
10月31日	金							
11月1日	土							
11月2日	日							
11月3日	月	文化の日 ひこねお城まつり						
11月4日	火							
11月5日	水							
11月6日	木							
11月7日	金		(国スポとの間隔31日間)		(国スポとの間隔30日間)		(国スポとの間隔24日間)	
11月8日	土			②		②		②
11月9日	日							
11月10日	月							

国スポ第1案 令和7年9月27日(土)～10月7日(火)

→ 障スポ第1案 10月25日(土)～10月27日(月)＜間隔17日間＞
 障スポ第2案 11月8日(土)～11月10日(月)＜間隔31日間＞

国スポ第2案 令和7年9月28日(日)～10月8日(水)

→ 障スポ第1案 10月25日(土)～10月27日(月)＜間隔16日間＞
 障スポ第2案 11月8日(土)～11月10日(月)＜間隔30日間＞

国スポ第3案 令和7年10月4日(土)～10月14日(火)

→ 障スポ第1案 10月25日(土)～10月27日(月)＜間隔10日間＞
 障スポ第2案 11月8日(土)～11月10日(月)＜間隔24日間＞

第79回国民スポーツ大会 正式競技 会場地市町第八次内定(案)

番号	競技名(種目)		種別	市町名		開催予定施設
				所在地	準備運営	
1	自転車	トラック・レース	全種別	京都府向日市	滋賀県	向日町競輪場
2		ロード・レース	全種別	東近江市		東近江市特設ロードレースコース

(注)開催予定施設は、現時点で競技を開催できる能力を有する施設として判断したものであり、今後、中央競技団体視察の結果により、会場の追加変更等が生じる場合がある。

第79回国民スポーツ大会 正式競技 開催予定施設変更（案）

	競技名	種別	市町名	開催予定施設名	
				(変更前)	(変更後)
1	バレーボール (ビーチバレー ボール)	全種別	長浜市	長浜市南浜町地先特設会場	豊公園自由広場特設会場

(理由) 仮設コートや観客席の配置等において、十分な面積を確保できるため。

第79回国民スポーツ大会 正式競技 競技会場地の内定状況

○内定済み(第一次～第七次) … 37競技(正式競技36、特別競技1)

○内定(第八次内定) … 1競技 (自転車 (トラック・レース、ロード・レース))

○変更手続き … 1競技 (バレーボール (ビーチバレーボール))

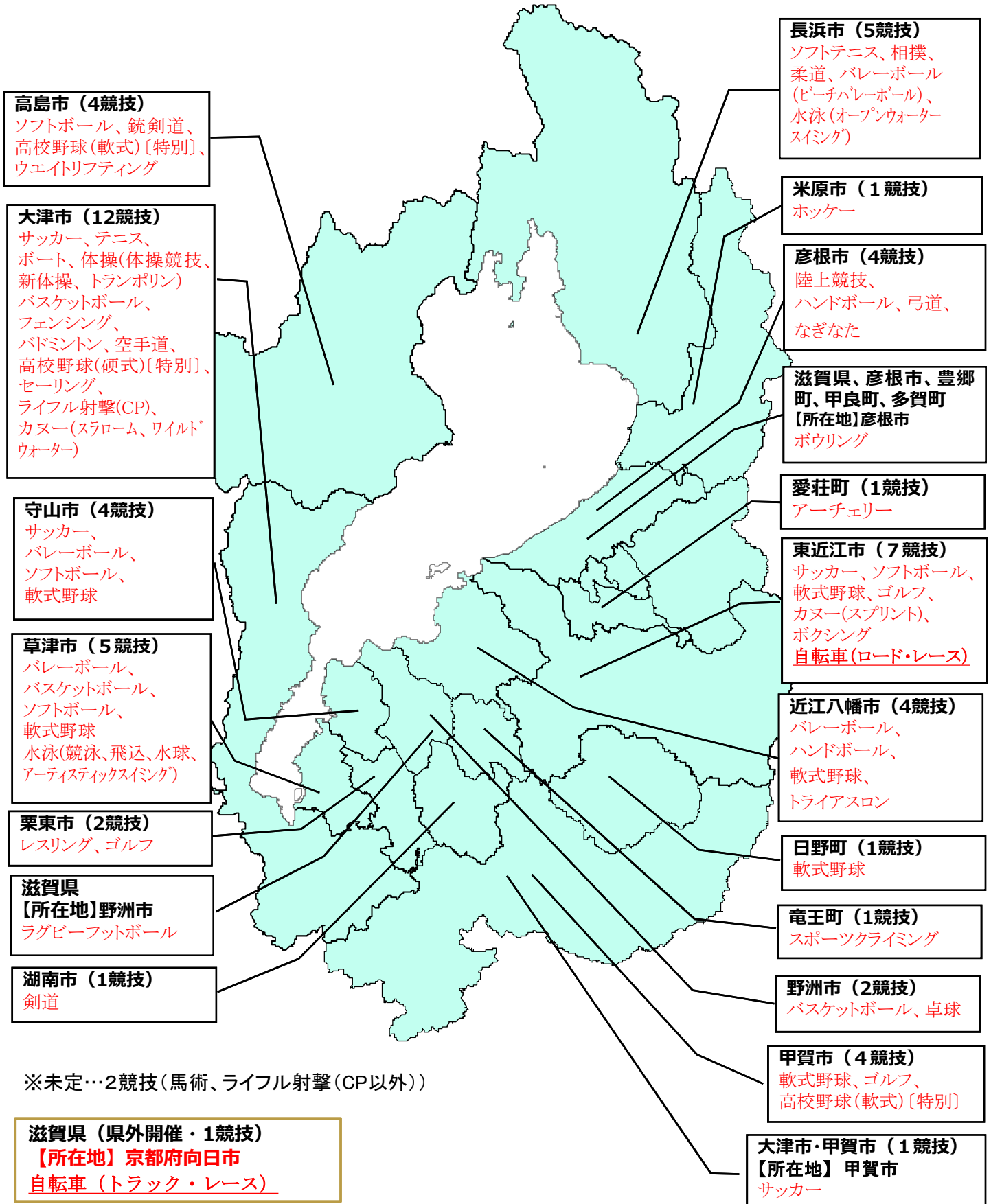
No	競技名		第79回国スポ 会場地			
			内定時期	市町名		種別
				所在地	準備運営	
	開・閉会式		H26.5.26	彦根市		(仮称)金亀公園陸上競技場
1	陸上競技		H26.5.26	彦根市		(仮称)金亀公園陸上競技場 全種別
2	水泳	競泳	⑦R3.3.22	草津市		(仮称)草津市立プール 全種別
		飛込				
		水球				
		アーティスティックスイミング				
		オープンウォータースイミング	⑤R元.5.17	長浜市		長浜市南浜町地先特設会場 少年女子 全種別
3	サッカー		②H28.8.3 ⑦R3.3.22変更	東近江市		東近江市総合運動公園布引陸上競技場 京セラ株式会社滋賀八日市工場総合グラウンド 成年男子
				大津市		皇子山総合運動公園陸上競技場 伊香立公園芝生グラウンド 少年女子
				甲賀市	大津市 甲賀市	甲賀市立水口スポーツの森陸上競技場 少年女子
				守山市		野洲川歴史公園サッカー場(ビッグレイク) 少年男子
4	テニス		②H28.8.3	大津市		大石緑地スポーツ村テニスコート 全種別
5	ボート		②H28.8.3	大津市		関西みらいローイングセンター(滋賀県立琵琶湖漕艇場) 全種別
6	ホッケー		③H29.7.31	米原市		OSPホッケースタジアム(滋賀県立伊吹運動場) 米原市伊吹第1グラウンド 全種別
7	ボクシング		④H30.5.21	東近江市		東近江市能登川アリーナ 全種別
8	バレーボール	6人制	②H28.8.3	草津市		草津市立総合体育館 YMITアリーナ(くさつシティアリーナ) 成年男子 成年女子
				近江八幡市		近江八幡市立運動公園体育館 少年男子
				守山市		守山市民体育館 少年女子
		ビーチバレーボール	⑤R元.5.17 ⑧R3.8.3変更予定	長浜市		豊公園自由広場特設会場 少年男子 少年女子

No	競技名		第79回国スポ 会場地				
			内定時期	市町名		施設名	種別
				所在地	準備運営		
9	体操	競技	②H28.8.3	大津市		滋賀アリーナ	全種別
		新体操	②H28.8.3	大津市		滋賀アリーナ	少年女子 少年男子
		トランポリン	⑥R2.6.1	大津市		滋賀アリーナ	全種別
10	バスケットボール		②H28.8.3	大津市		滋賀アリーナ	成年男子 少年男子
				野洲市		野洲市総合体育館	成年女子
				草津市		YMITアリーナ(くさつシティアリーナ)	少年女子
11	レスリング		②H28.8.3	栗東市		栗東市民体育館	全種別
12	セーリング		④H30.5.21	大津市		大津市柳が崎特設セーリング会場	全種別
13	ウェイトリフティング		④H30.5.21	高島市		県立安曇川高等学校体育館	全種別
14	ハンドボール		③H29.7.31	彦根市		彦根市スポーツ・文化交流センター 彦総グリーンアリーナ(彦根総合高等学校体育館)	成年男子 成年女子 少年女子
			④R元.5.17変更	近江八幡市		近江八幡市立運動公園体育館 あづちマリエート	少年男子 少年女子
15	自転車	トラック・レース	⑧R3.8.3予定	京都府向日市	滋賀県	向日町競輪場	全種別
		ロード・レース	⑧R3.8.3予定	東近江市		東近江市特設ロードレースコース	全種別
16	ソフトテニス		①H27.8.31	長浜市		長浜市民庭球場	全種別
17	卓球		②H28.8.3	野洲市		野洲市総合体育館	全種別
18	軟式野球		③H29.7.31	近江八幡市		近江八幡市立運動公園野球場	成年男子
				草津市		草津グリーンスタジアム	
				守山市		守山市民球場	
				甲賀市		甲賀市民スタジアム	
				東近江市		東近江市立ひばり公園湖東スタジアム	
				日野町		大谷公園野球場	
19	相撲		①H27.8.31	長浜市		長浜バイオ大学ドーム(滋賀県立長浜ドーム)	全種別
20	馬術						
21	柔道		②H28.8.3	長浜市		長浜伊香ツインアリーナ	全種別
22	ソフトボール		②H28.8.3 ⑥R2.6.1変更	東近江市		東近江市総合運動公園布引多目的グラウンド	成年男子
				高島市		今津総合運動公園第1グラウンド・第2グラウンド	成年女子
				草津市		野村公園グラウンド	少年男子
				守山市		守山市民運動公園ソフトボール場 守山市民球場	少年女子

No	競技名		第79回国スポ 会場地				
			内定時期	市町名		施設名	種別
				所在地	準備運営		
23	フェンシング		③H29.7.31	大津市		ウカルちゃんアリーナ(滋賀県立体育館)	全種別
24	バドミントン		②H28.8.3	大津市		滋賀アリーナ	全種別
25	弓道		③H29.7.31	彦根市		彦根市スポーツ・文化交流センター	全種別
26	ライフル射撃	センター・ファイア・ピストル	④H30.5.21	大津市		滋賀県警察学校射撃場	全種別
		センター・ファイア・ピストル以外					
27	剣道		①H27.8.31	湖南市		湖南市総合体育館	全種別
28	スポーツクライミング	リード	③H29.7.31	竜王町		竜王町総合運動公園	全種別
		ボルダリング					
29	ラグビーフットボール		⑥R2.6.1	野洲市	滋賀県	滋賀県希望が丘文化公園	全種別
30	カヌー	スプリント	③H29.7.31	東近江市		東近江市能登川水車とカヌーランド	全種別
		スラローム ワイルドウォーター	④H30.5.21	大津市		瀬田川特設カヌー会場	全種別
31	アーチェリー		①H27.8.31	愛荘町		愛荘町スポーツセンター 秦荘グラウンド	全種別
32	空手道		②H28.8.3	大津市		ウカルちゃんアリーナ(滋賀県立体育館)	全種別
33	銃剣道		③H29.7.31	高島市		新旭体育館	全種別
34	なぎなた		③H29.7.31	彦根市		パナソニック株式会社アプライアンス社彦根工場多目的ホール	全種別
35	ボウリング		⑥R2.6.1	彦根市	滋賀県彦根市豊郷町甲良町多賀町	ラピュタボウル彦根	全種別
36	ゴルフ		③H29.7.31	栗東市		琵琶湖カントリー倶楽部	成年男子
				甲賀市		ベアズパウ ジャパン カントリークラブ	少年男子
				東近江市		名神八日市カントリー倶楽部	女子
37	トライアスロン		④H30.5.21	近江八幡市		近江八幡市特設トライアスロン会場	全種別
38	高等学校野球	硬式	①H27.8.31	大津市		皇子山総合運動公園野球場	—
		軟式	③H29.7.31	甲賀市		甲賀市民スタジアム	—
				高島市		今津スタジアム	

注) 1 開催予定施設は、現時点で競技を開催できる能力を有する施設として判断したものであり、今後、中央競技団体視察の結果等により、会場の追加・変更等が生じる場合がある。

第79回国民スポーツ大会正式競技 開催予定施設配置図



第 79 回国民スポーツ大会 競技施設基準の改正について

＜改正の要旨＞

競技団体が定める競技規則等の改正を反映するもの。

＜対象競技＞

- ・セーリング
- ・ソフトテニス
- ・スポーツクライミング
- ・アーチェリー
- ・空手道

(現行)

令和3年(2021年)1月20日
第13回総務企画専門委員会決定

第79回国民スポーツ大会 競技施設基準



第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会

滋賀県開催準備委員会

(改正案)

(案)

第79回国民スポーツ大会 競技施設基準



第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会

滋賀県開催準備委員会

（現行）
第79回国民スポーツ大会競技施設基準について

第79回国民スポーツ大会の開催準備を計画的かつ円滑に推進するために定めたものである。

- 1 この競技施設基準は、国民体育大会開催基準要項細則第2項に規定する施設基準および各競技の競技規則等ならびに先催県の例等に基づき、競技場の規模を中心に定めたものである。
- 2 大会運営上および管理上必要な施設・面積等については、省略してあるものがあり、さらに関連する施設・面積等の確保が必要になる場合がある。
- 3 この競技施設基準に定めるもののほか、細部については、それぞれ各競技の競技規則等によるものとする。
- 4 この競技施設基準は、県および開催市町等において、各中央競技団体等と調整を行い、弾力的な運用ができるものとする。
- 5 この競技施設基準の内容については、国民体育大会開催基準要項および各競技の競技規則等の改正に伴い、変更する場合がある。

※平成26年（2014年）2月14日より適用する。
※平成30年（2018年）4月16日より適用する。
※平成31年（2019年）4月24日より適用する。
※令和 3年（2021年）1月20日より適用する。

—《 競 技 施 設 基 準 の 見 方 》—

- 「基準」および「摘要」欄
国民体育大会開催基準要項細則に定められている事項。
- 「基準の主な内容」欄
競技場に関して各競技の競技規則等に定められているもので主な事項。
- 「配慮すべき事項」欄
各競技の競技規則等には定めはないが、運営上、競技会の安全な開催および先催県の例等から検討が必要と考えられる事項。
- 「先催県の事例」欄
先催県における競技施設基準の弾力的な運用事例。

（改正案）
第79回国民スポーツ大会競技施設基準について

第79回国民スポーツ大会の開催準備を計画的かつ円滑に推進するために定めたものである。

- 1 この競技施設基準は、国民体育大会開催基準要項細則第2項に規定する施設基準および各競技の競技規則等ならびに先催県の例等に基づき、競技場の規模を中心に定めたものである。
- 2 大会運営上および管理上必要な施設・面積等については、省略してあるものがあり、さらに関連する施設・面積等の確保が必要になる場合がある。
- 3 この競技施設基準に定めるもののほか、細部については、それぞれ各競技の競技規則等によるものとする。
- 4 この競技施設基準は、県および開催市町等において、各中央競技団体等と調整を行い、弾力的な運用ができるものとする。
- 5 この競技施設基準の内容については、国民体育大会開催基準要項および各競技の競技規則等の改正に伴い、変更する場合がある。

※平成26年（2014年）2月14日より適用する。
※平成30年（2018年）4月16日より適用する。
※平成31年（2019年）4月24日より適用する。
※令和 3年（2021年）1月20日より適用する。
※令和 3年（2021年）6月 7日より適用する。

—《 競 技 施 設 基 準 の 見 方 》—

- 「基準」および「摘要」欄
国民体育大会開催基準要項細則に定められている事項。
- 「基準の主な内容」欄
競技場に関して各競技の競技規則等に定められているもので主な事項。
- 「配慮すべき事項」欄
各競技の競技規則等には定めはないが、運営上、競技会の安全な開催および先催県の例等から検討が必要と考えられる事項。
- 「先催県の事例」欄
先催県における競技施設基準の弾力的な運用事例。

(現行)

目

次

(ページ)

1	陸上競技	1
2	水泳	2
3	サッカー	5
4	テニス	6
5	ボート	7
6	ホッケー	8
7	ボクシング	9
8	バレーボール	10
9	体操	12
10	バスケットボール	13
11	レスリング	14
12	セーリング	15
13	ウエイトリフティング	16
14	ハンドボール	17
15	自転車	18
16	ソフトテニス	19
17	卓球	20
18	軟式野球	21
19	相撲	22
20	馬術	23
21	フェンシング	24
22	柔道	25
23	ソフトボール	26
24	バドミントン	27
25	弓道	28
26	ライフル射撃	29
27	剣道	31
28	ラグビーフットボール	32
29	スポーツクライミング	33
30	カヌー	35
31	アーチェリー	37
32	空手道	38
33	銃剣道	39
34	なぎなた	40
35	ボウリング	41
36	ゴルフ	42
37	トライアスロン	43
38	高等学校野球	44

(改正案)

目

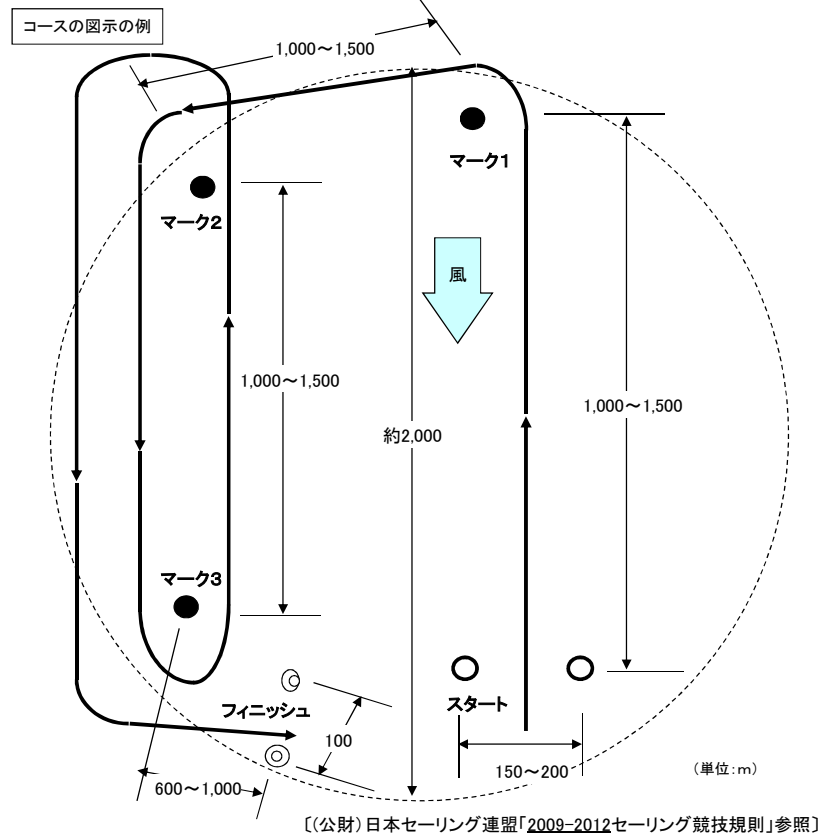
次

(ページ)

1	陸上競技	1
2	水泳	2
3	サッカー	5
4	テニス	6
5	ボート	7
6	ホッケー	8
7	ボクシング	9
8	バレーボール	10
9	体操	12
10	バスケットボール	13
11	レスリング	14
12	セーリング	15
13	ウエイトリフティング	16
14	ハンドボール	17
15	自転車	18
16	ソフトテニス	19
17	卓球	20
18	軟式野球	21
19	相撲	22
20	馬術	23
21	フェンシング	24
22	柔道	25
23	ソフトボール	26
24	バドミントン	27
25	弓道	28
26	ライフル射撃	29
27	剣道	31
28	ラグビーフットボール	32
29	スポーツクライミング	33
30	カヌー	35
31	アーチェリー	37
32	空手道	38
33	銃剣道	39
34	なぎなた	40
35	ボウリング	41
36	ゴルフ	42
37	トライアスロン	43
38	高等学校野球	44

競技名	セーリング	(現行)	競技番号	12
基準	(公財)日本セーリング連盟が適当と認める 水域 1 (2海面) ヨットハーバー、艇庫及び競技運営棟 (仮設でもよい)	摘要		

基準の主な内容



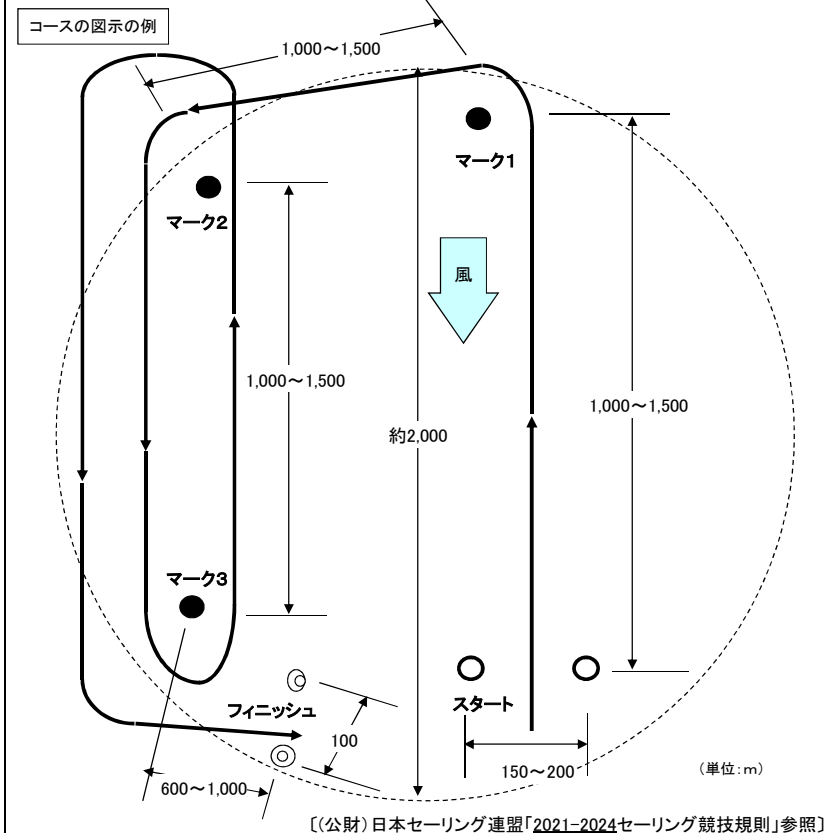
(配慮すべき事項)

- 水域(競技海面)は、ハーバーの近くにあることが望ましい。
- 競技海面の外周2kmに陸、島、河川がないことが望ましい。
- ウインドサーフィン用はヨットハーバー内に人工芝を張るか、砂浜が隣接していることが望ましい。
- 直径1.5km程度の競技海面が2つ取れること。
- 定期航路と競技海面が重複しないこと。
- 艇置き場として7,000㎡(350艇分)の広さが近接した場所を含め、確保できることが望ましい。

(先催県の事例)

競技名	セーリング	(改正案)	競技番号	12
基準	(公財)日本セーリング連盟が適当と認める 水域 1 (2海面) ヨットハーバー、艇庫及び競技運営棟 (仮設でもよい)	摘要		

基準の主な内容



(配慮すべき事項)

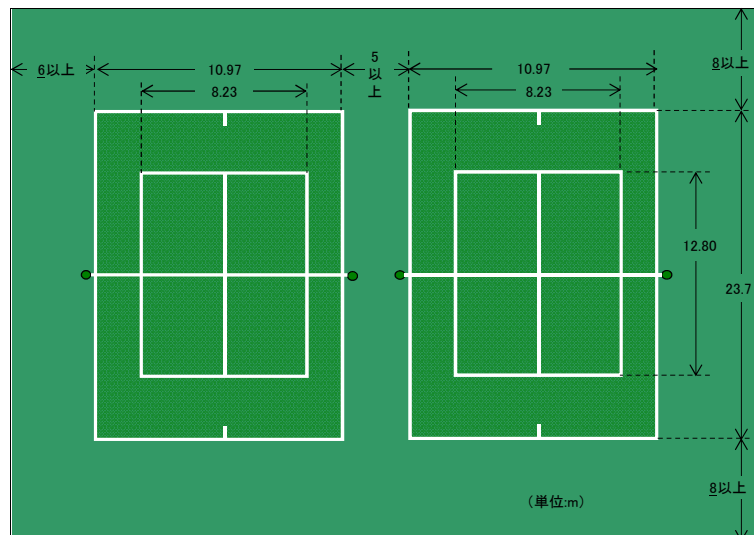
- 水域(競技海面)は、ハーバーの近くにあることが望ましい。
- 競技海面の外周2kmに陸、島、河川がないことが望ましい。
- ウインドサーフィン用はヨットハーバー内に人工芝を張るか、砂浜が隣接していることが望ましい。
- 直径1.5km程度の競技海面が2つ取れること。
- 定期航路と競技海面が重複しないこと。
- 艇置き場として7,000㎡(350艇分)の広さが近接した場所を含め、確保できることが望ましい。

(先催県の事例)

競技名	ソフトテニス	(現行)	競技番号	16
基準	規定のコート16面	摘要	2会場地に分かれてもよい。	

基準の主な内容

コートは、次のとおりとする。



○アウトコートはコートの周囲のスペースで、ベースラインから後方に8m以上、サイドラインから外側に8m以上であることを原則とする。

○コートが2面以上ならば場合、隣接するコートにおいて接するサイドラインの間隔は5m以上であることを原則とする。

○コート及びアウトコートのサーフェイスは、アウトドアではクレー、砂入り人工芝又は全天候型ケミカル等とし、インドアでは木板、砂入り人工芝、硬質ラバー、ケミカル等とする。

〔(公財)日本ソフトテニス連盟「競技規則」から抜粋〕

(配慮すべき事項)

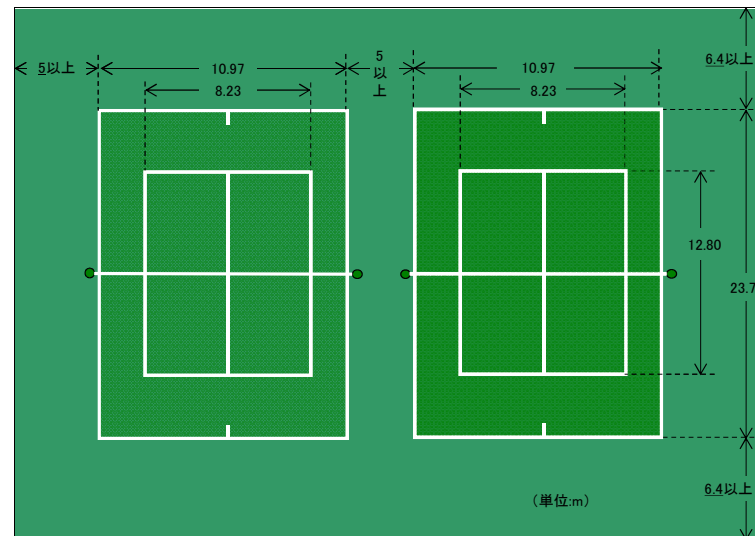
- 2会場地に分かれる場合は、競技運営上、1会場地で8面以上確保できる。
- ナイター照明があることが望ましい。

(先催県の事例)

競技名	ソフトテニス	(改正案)	競技番号	16
基準	規定のコート16面	摘要	2会場地に分かれてもよい。	

基準の主な内容

コートは、次のとおりとする。



○アウトコートはコートの周囲のスペースで、ベースラインから後方に6.4m以上、サイドラインから外側に5m以上であることを原則とする。

○コートが2面以上ならば場合、隣接するコートにおいて接するサイドラインの間隔は5m以上であることを原則とする。

○コート及びアウトコートのサーフェイスは、アウトドアではクレー、人工クレー、砂入り人工芝又は全天候型等とし、インドアでは木板、人工クレー、砂入り人工芝、硬質ラバー又は全天候型等とする。

○テニスコートにおける照度は、コート面から1mの高さで原則500ルクス以上とする。

〔(公財)日本ソフトテニス連盟「競技規則」から抜粋〕

(配慮すべき事項)

- 2会場地に分かれる場合は、競技運営上、1会場地で8面以上確保できる。
- ナイター照明があることが望ましい。

(先催県の事例)

競技名	スポーツクライミング（その1）	（現行）	競技番号	29
基準	（公社）日本山岳・スポーツクライミング協会が適当と認めるリード施設およびボルダリング施設	摘要	高さ12m以上、ルート長さ15m以上の幅3m以上のルートを同時に2本以上設定できるリード施設 高さ5m、面積60㎡のボルダリング施設2基 1会場で実施	

基準の主な内容

競技場は、基本的には次のとおりとする。

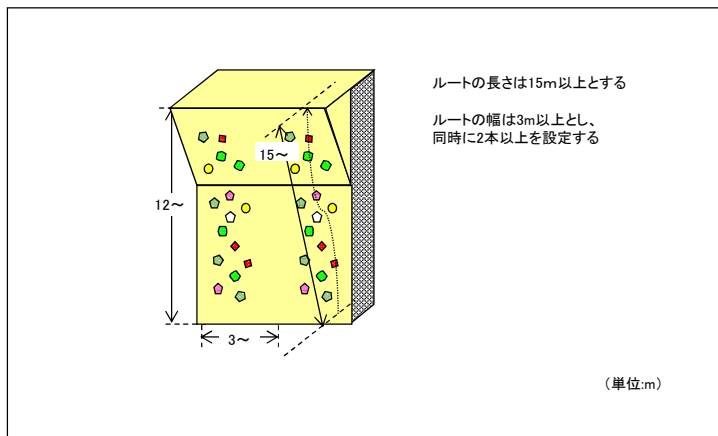
1 リード競技

（1）ウォールは以下の仕様による。

- ① ウォールは、ルートの長さで15m以上が設定できるもの、高さは12m以上を必要とする。
- ② ルートの幅は、3m以上とする。
- ③ ルートは、同時に2本以上設定可能な近似形態とする。
- ④ ウォールの設置場所が室外の場合は、雨天対策を施すものとする。
- ⑤ ウォールの構造上あるいは立地上、オンサイト方式に抵触する可能性がある場合、ルート・セッターが設定したルートを隠すことができるカーテン等の装置を施すものとする。
- ⑥ ウォールの設置場所が室内の場合は、空調設置等で温度変化が少なくなるように留意する。

（2）アイソレーション・ゾーンは、以下の仕様による。

- ① 原則として当日競技をする選手・監督を収容するスペースを有しなければならない。
また、できるだけウォールに隣接して設置されることが望ましい。
- ② ウォームアップ用のウォール（原則として高さ3m、幅5m以上）を2面以上設けなければならない。
- （3）ウォールに隣接して、ルートが見えない場所にコール・ゾーン（原則として競技者8名以上を収容できる場所）を設置しなければならない。また、競技者をアイソレーション・ゾーンから輸送するのに時間がかかる場合は、簡便なウォームアップ用ウォールを用意しなければならない。
- （4）審判席は、ルートを見渡せる正面及び側面の位置に設置しなければならない。
- （5）審判用器具としてビデオカメラ、モニターテレビ、ストップウォッチ及び観客・選手用大型時計（モニター）を設置する。
- （6）その他のウォール及び審判に係る施設、器具の詳細は、国体山岳競技運営の手引きによる。



競技名	スポーツクライミング（その1）	（改正案）	競技番号	29
基準	（公社）日本山岳・スポーツクライミング協会が適当と認めるリード施設およびボルダリング施設	摘要	高さ12m以上、ルート長さ15m以上の幅3m以上のルートを同時に2本以上設定できるリード施設 高さ5m、面積60㎡のボルダリング施設2基 1会場で実施	

基準の主な内容

競技場は、基本的には次のとおりとする。

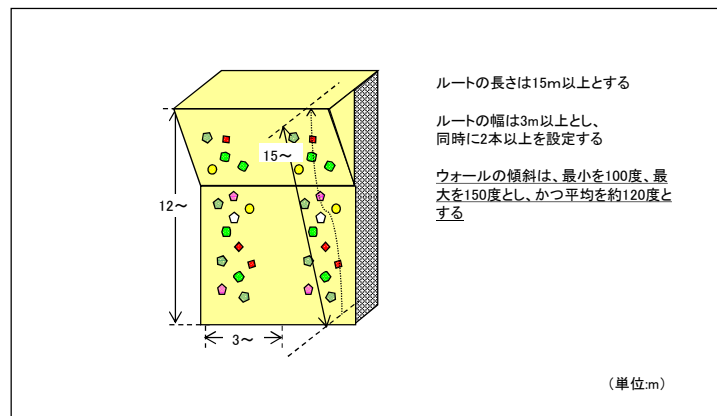
1 リード競技

（1）ウォールは以下の仕様による。

- ① ウォールは、ルートの長さで15m以上が設定できるもの、高さは12m以上を必要とする。
- ② ルートの幅は、3m以上とする。
- ③ ルートは、同時に2本以上設定可能な近似形態とする。
- ④ ウォールの傾斜は、最小を100度、最大を150度とし、かつ平均を約120度とする。
- ⑤ ウォールの設置場所が室外の場合は、雨天対策を施すものとし、北（または北東）向きでの設置が望ましい。
- ⑥ ウォールの構造上あるいは立地上、オンサイト方式に抵触する可能性がある場合、ルート・セッターが設定したルートを隠すことができるカーテン等の装置を施すものとする。
- ⑦ ウォールの設置場所が室内の場合は、空調設置等で温度変化が少なくなるように留意する。

（2）アイソレーション・ゾーンは、以下の仕様による。

- ① 原則として当日競技をする選手・監督を収容するスペースを有しなければならない。
また、できるだけウォールに隣接して設置されることが望ましい。
- ② ウォームアップ用のウォール（原則として高さ3m、幅5m以上）を2面以上設けなければならない。
- （3）ウォールに隣接して、ルートが見えない場所にコール・ゾーン（原則として競技者8名以上を収容できる場所）を設置しなければならない。また、競技者をアイソレーション・ゾーンから輸送するのに時間がかかる場合は、簡便なウォームアップ用ウォールを用意しなければならない。
- （4）審判席は、ルートを見渡せる正面及び側面の位置に設置しなければならない。
- （5）審判用器具としてビデオカメラ、モニターテレビ、ストップウォッチ及び観客・選手用大型時計（モニター）を設置する。
- （6）その他のウォール及び審判に係る施設、器具の詳細は、国体山岳競技運営の手引きによる。

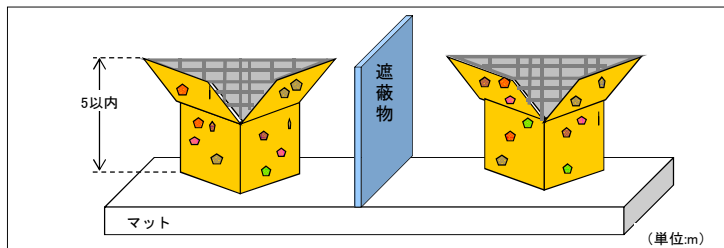


競技名	スポーツクライミング（その2）	（現行）	競技番号	29
基準	（公社）日本山岳・スポーツクライミング協会が適当と認めるリード施設およびボルダリング施設	摘要	高さ12m以上、ルート長さ15m以上の幅3m以上のルートを同時に2本以上設定できるリード施設 高さ5m、面積60㎡のボルダリング施設2基 1会場で実施	

基準の主な内容

2 ボルダリング競技

- （1）ウォールは、以下の仕様による。
 - ① ウォールの高さは、マット面から5m以内とする。
 - ② ウォール数は、1基に2ルート以上とれる仕様のもので合計2基とする。
 - ③ ウォールの壁面積は、1基あたり60㎡とする。
 - ④ 観客席から見やすいようにウォールは壇上に設置されなければならない。
 - ⑤ ウォール2基は、お互いのルート（プロブレム）が見えないように遮蔽などの対策を施すこと。
 - ⑥ ウォールの傾斜は、90度以上とする。
 - ⑦ ウォールのパネルは、交換できなくてもよいが、立体的な構造が望ましい。
 - ⑧ ウォール2基の間には、選手の休憩場所を設置し、休憩場所から競技が見えないようにすること。
 - ⑨ ウォールの設置場所が室外の場合は、雨天対策を施すものとする。
 - ⑩ 必要に応じて、ルート・セッターが設定したルートを隠すことができるカーテン等の装置を施すものとする。
- ⑪ 安全対策のため、ウォールの下には壁上部から選手が墜落した場合にも十分な安全が確保できるようなマットを設置するものとする。
- ⑫ ウォールの設置場所が室内の場合は、空調設置等で温度変化が少なくなるように留意する。
- （2）アイソレーション・ゾーンは、以下の仕様による。
 - ① アイソレーション・ゾーンは、原則として当日競技をする選手・監督を収容するスペースを有しなければならない。また、できるだけウォールに隣接して設置されることが望ましい。
 - ② アイソレーション・ゾーンには、ウォームアップ用のウォール（原則として高さ3m、幅5m以上）を2面以上設けなければならない。
- （3）ウォールに隣接して、ルートが見えない場所にコール・ゾーン（原則として競技者8名以上を収容できる場所）を設置しなければならない。また、競技者をアイソレーション・ゾーンから輸送するのに時間がかかる場合は、簡便なウォームアップ用ウォールを用意しなければならない。
- （4）審判席は、ルートを見渡せる正面及び側面の位置に設置しなければならない。
- （5）審判用器具としてビデオカメラ、モニターテレビ、ストップウォッチ及び観客・選手用大型時計（モニター）を設置する。
- （6）競技時間ごとに鳴るブザーを設置する。
- （7）その他のウォール及び審判に係る施設、器具の詳細は、国体山岳競技運営の手引きによる。



【（公社）日本山岳・スポーツクライミング協会「山岳競技施設認定規則」から抜粋】

（配慮すべき事項）

- ボルダリング競技とリード競技は隣接した施設を会場とする。
- ボルダリング競技のウォール設置場所は、屋内とすることが望ましい。

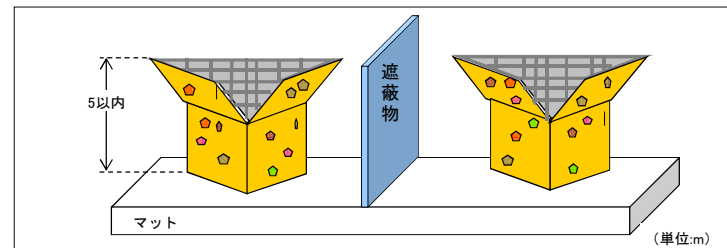
（先催県の事例）

競技名	スポーツクライミング（その2）	（改正案）	競技番号	29
基準	（公社）日本山岳・スポーツクライミング協会が適当と認めるリード施設およびボルダリング施設	摘要	高さ12m以上、ルート長さ15m以上の幅3m以上のルートを同時に2本以上設定できるリード施設 高さ5m、面積60㎡のボルダリング施設2基 1会場で実施	

基準の主な内容

2 ボルダリング競技

- （1）ウォールは、以下の仕様による。
 - ① ウォールの高さは、マット面から5m以内とする。
 - ② ウォール数は、1基に2ルート以上とれる仕様のもので合計2基とする。
 - ③ ウォールの壁面積は、1基あたり60㎡とする。
 - ④ 観客席から見やすいようにウォールは壇上に設置されなければならない。
 - ⑤ ウォール2基は、お互いのルート（プロブレム）が見えないように遮蔽などの対策を施すこと。
 - ⑥ ウォールの傾斜は、最小を85度、最大を150度とし、かつ平均を約120度とする。
 - ⑦ ウォールのパネルは、交換できなくてもよいが、立体的な構造が望ましい。
 - ⑧ ウォール2基の間には、選手の休憩場所を設置し、休憩場所から競技が見えないようにすること。
 - ⑨ ウォールの設置場所が室外の場合は、雨天対策を施すものとし、北向きでの設置が望ましい。
 - ⑩ 必要に応じて、ルート・セッターが設定したルートを隠すことができるカーテン等の装置を施すものとする。
 - ⑪ 安全対策のため、ウォールの下には壁上部から選手が墜落した場合にも十分な安全が確保できるようなマットを設置するものとする。
 - ⑫ ウォールの設置場所が室内の場合は、空調設置等で温度変化が少なくなるように留意する。
- （2）アイソレーション・ゾーンは、以下の仕様による。
 - ① アイソレーション・ゾーンは、原則として当日競技をする選手・監督を収容するスペースを有しなければならない。また、できるだけウォールに隣接して設置されることが望ましい。
 - ② アイソレーション・ゾーンには、ウォームアップ用のウォール（原則として高さ3m、幅5m以上）を2面以上設けなければならない。
- （3）ウォールに隣接して、ルートが見えない場所にコール・ゾーン（原則として競技者8名以上を収容できる場所）を設置しなければならない。また、競技者をアイソレーション・ゾーンから輸送するのに時間がかかる場合は、簡便なウォームアップ用ウォールを用意しなければならない。
- （4）審判席は、ルートを見渡せる正面及び側面の位置に設置しなければならない。
- （5）審判用器具としてビデオカメラ、モニターテレビ、ストップウォッチ及び観客・選手用大型時計（モニター）を設置する。
- （6）競技時間ごとに鳴るブザーを設置する。
- （7）その他のウォール及び審判に係る施設、器具の詳細は、国体山岳競技運営の手引きによる。



【（公社）日本山岳・スポーツクライミング協会「山岳競技施設認定規則」から抜粋】

（配慮すべき事項）

- ボルダリング競技とリード競技は隣接した施設を会場とする。
- ボルダリング競技のウォール設置場所は、屋内とすることが望ましい。

（先催県の事例）

競技名	アーチェリー	(現行)	競技番号	31
基準	70mの射程距離を有する施設 1	摘要		

基準の主な内容				
競技場は、次のとおりとする。				
<p>○ウエイトラインは、シューティングラインの5m以上後方の位置に設ける。</p> <p>○2名以上の競技者が同じ標的を同時に行射する場合、1競技者について最低80cmの間隔が確保されなければならない。車椅子競技者の参加がある場合さらに広い間隔を必要とする。</p> <p>○メディアラインはウエイトラインの前方1mに設置する。</p> <p>○団体戦ではシューティングラインの手前1mに明瞭なラインを設置する。</p> <p>○観客の安全のため、競技場の周囲に適当なバリアを設けて、観客が競技場内に立ち入らないようにする。このバリアは、90mターゲットラインの端から20m離れた位置から、シューティングラインの端から10m離れた位置まで幅を減少させて直線で結んでもよい。</p> <p>また、このバリアはウエイトラインから後方に少なくとも10m以上の位置とし、標的の後方の人の動き等によって競技者の集中力を阻害することがないように注意する必要がある。</p> <p>○遮蔽物は、標的の上を外れた矢を止めるのに十分な高さでなければならない。</p> <p>〔(公社)全日本アーチェリー連盟「競技規則」から抜粋〕</p>				
<p>(配慮すべき事項)</p> <p>○競技場は水平に均されたフィールドで、方位は標的の面が南向きになるように標的を北側に設置することを原則とする。</p> <p>○オリンピックラウンドおよびコンパウンドマッチラウンドでは、イリミネーションラウンドおよびファイナルラウンドの間、競技が進行している間に競技者が練習できるように、競技会場の近くに練習会場を併設する。</p>				
(先催県の事例)				

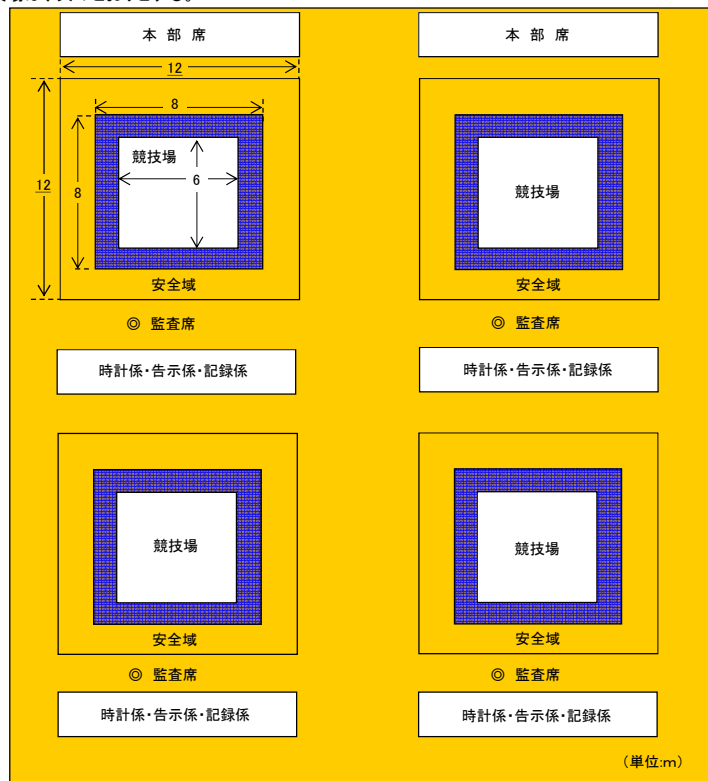
競技名	アーチェリー	(改正案)	競技番号	31
基準	70mの射程距離を有する施設 1	摘要		

基準の主な内容				
競技場は、次のとおりとする。				
<p>○ウエイトラインは、シューティングラインの5m以上後方の位置に設ける。</p> <p>○2名以上の競技者が同じ標的を同時に行射する場合、1競技者について最低90cmの間隔が確保されなければならない。車椅子競技者の参加がある場合さらに広い間隔を必要とする。</p> <p>○メディアラインはウエイトラインの前方1mに設置する。</p> <p>○団体戦ではシューティングラインの手前1mに明瞭なラインを設置する。</p> <p>○観客の安全のため、競技場の周囲に適当なバリアを設けて、観客が競技場内に立ち入らないようにする。このバリアは、90mターゲットラインの端から20m離れた位置から、シューティングラインの端から10m離れた位置まで幅を減少させて直線で結んでもよい。</p> <p>また、このバリアはウエイトラインから後方に少なくとも10m以上の位置とし、標的の後方の人の動き等によって競技者の集中力を阻害することがないように注意する必要がある。</p> <p>○遮蔽物は、標的の上を外れた矢を止めるのに十分な高さでなければならない。</p> <p>〔(公社)全日本アーチェリー連盟「競技規則」から抜粋〕</p>				
<p>(配慮すべき事項)</p> <p>○競技場は水平に均されたフィールドで、方位は標的の面が南向きになるように標的を北側に設置することを原則とする。</p> <p>○オリンピックラウンドおよびコンパウンドマッチラウンドでは、イリミネーションラウンドおよびファイナルラウンドの間、競技が進行している間に競技者が練習できるように、競技会場の近くに練習会場を併設する。</p>				
(先催県の事例)				

競技名	空 手 道	(現行)	競技番号	32
基準	規定の競技場4面を有する空手道場又は体育館 1	摘要		

基 準 の 主 な 内 容

競技場は、次のとおりとする。



- 競技場安全域外側周辺1m以内には、広告板、壁、柱等があってはならない。
- 使用するマットは、全空連承認のものであること。

〔(公財)全日本空手道連盟「空手競技規定」から抜粋〕

(配慮すべき事項)

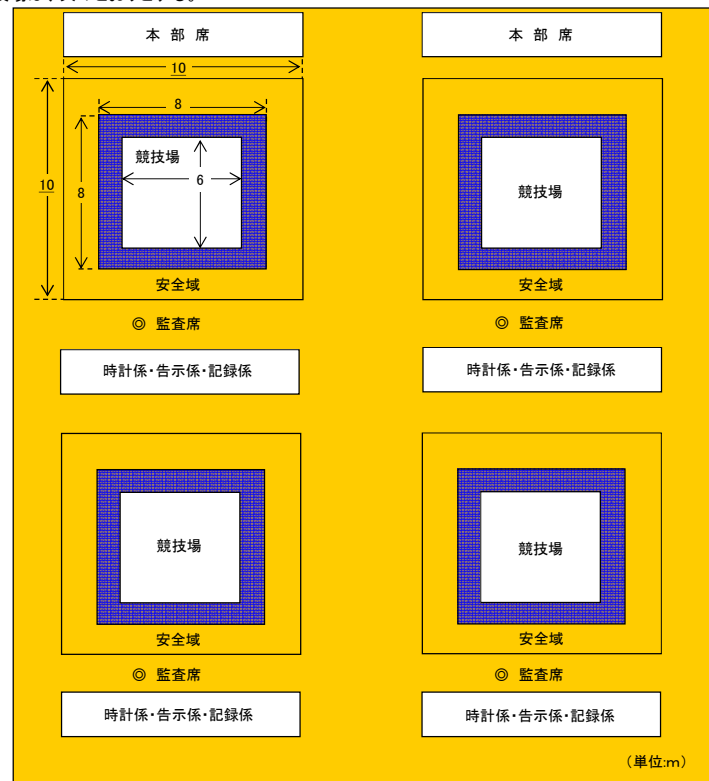
- 競技会場である空手道場又は体育館の窓には、直射日光を遮断する設備があることが望ましい。
- 8m四方の競技場の外側に各2m幅の安全域を設ける。マットは1コート12m四方とする。

(先催県の事例)

競技名	空 手 道	(改正案)	競技番号	32
基準	規定の競技場4面を有する空手道場又は体育館 1	摘要		

基 準 の 主 な 内 容

競技場は、次のとおりとする。



- 競技場安全域外側周辺1m以内には、広告板、壁、柱等があってはならない。
- 使用するマットは、全空連承認のものであること。

〔(公財)全日本空手道連盟「空手競技規定」から抜粋〕

(配慮すべき事項)

- 競技会場である空手道場又は体育館の窓には、直射日光を遮断する設備があることが望ましい。
- 8m四方の競技場の外側に各2m幅の安全領域を設ける。マットは1コート10m四方とする。

(先催県の事例)

第 79 回国民スポーツ大会 競技施設整備計画【第 3 次】（案）

1 趣旨

第 79 回国民スポーツ大会の競技施設の整備を計画的かつ円滑に推進するため、第 79 回国民スポーツ大会会場地市町選定基準および同大会競技施設基準、中央競技団体正規視察の結果を踏まえ、会場地市町との協議を基に、全体的な整備計画を策定するもの。

なお、本整備計画は、現時点における予定であり、今後の状況に応じて見直すものとする。

2 施設整備区分一覧（令和 3 年 2 月現在）

整備区分 整備主体		新設	改修	仮設	既設	検討中	計
県内	県	2	4	0	2	1	9
	市町	5（4）	23（24）	9（8）	5（3）	3	45（42）
	民間	0	0	0	7（6）	0（2）	7（8）
	小計	7（6）	27（28）	9（8）	14（11）	4（6）	61（59）
県外		0	0	0	1（0）	0	1（0）
計		7（6）	27（28）	9（8）	15（11）	4（6）	62（59）

※（ ）は【第 2 次】の施設数（変動がないものは省略。）

3 用語等の説明

(1) 整備区分は次のとおりとする。

ア 「新設」は、新たに常設の競技施設を整備するものをいう。

イ 「改修」は、既存の競技施設を改修するもの（通常の維持修繕を行うものを除く。）をいう。

ウ 「仮設」は、国スポ開催に合わせて臨時的に競技施設を整備するものをいう。

エ 「既設」は、既存の競技施設をそのまま使用するもの（通常の維持修繕を行うものを含む。）をいう。

(2) 施設の概要は、新設は整備後の数値、改修および既設は現状の数値、仮設は競技施設基準の数値を記載した。

(3) 整備年度は、設計等の期間を除き、工事期間のみを記載した。

第79回国民スポーツ大会 競技施設整備計画【第3次】（案）

会場地 市町	競技名	種目・種別	競技施設名	施設の概要						整備 主体	整備 区分	主な整備内容	整備 年度	(整備年次計画)							付帯施設等	
				構造・ 表層	縦 (m)	横 (m)	面数 等	照度 (lx)	観客席数 (固定席)					H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6		R7
大津市	サッカー	少年女子	皇子山総合運動公園陸上競技場	天然芝	106	70	1	250	5,000	市	改修	トイレ改修等	R4-R5					⇒	⇒			本部室、放送室、事務室、医務室、記録員室、更衣室、シャワー室、倉庫
			伊香立公園芝生グラウンド	天然芝	105	68	1	—	—	市	検討中	検討中	検討中									シャワー室
	テニス	全種別	大石緑地スポーツ村テニスコート	砂入り人工芝コート24面				—	—	市	改修	人工芝の張替等	R3-R5				⇒	⇒	⇒		更衣室、シャワー室、会議室	
	ボート	全種別	関西みらいローイングセンター（滋賀県立琵琶湖漕艇場）	コース長1,000m、6レーン					—	県	改修	コース改修 管理棟・艇庫の改築	R元-R3		⇒	⇒	⇒			会議室兼宿泊室、トレーニング室、更衣室、浴室		
	体操	体操競技全種別	滋賀アリーナ	RC造一部S造	69以上	40以上	1	1,500以上	2,500以上	県	新設	アリーナの新設	R3-R4				⇒	⇒			サブアリーナ、トレーニング室、会議室、スポーツ・体力測定室	
		新体操全種別																				
		トランポリン全種別																				
	バスケットボール	成年男子 少年男子		4																		
	バドミントン	全種別		8																		
	セーリング	全種別	大津市柳が崎特設セーリング会場	2海面					—	市	仮設	コース設営等	検討中									
	フェンシング	全種別	ウカルちゃんアリーナ（滋賀県立体育館）	RC造一部S造	45	42	8	1,200～ 2,300	1,905	県	既設	—	—								小競技場、会議室、更衣室	
	空手道	全種別					4															
	ライフル射撃	CP 全種別	滋賀県警察学校射撃場	RC造	38	24.5	18射座	160～550	—	県	検討中	検討中	検討中									指揮室、体育館
	カヌー	スラローム ワイルドウォーター 全種別	瀬田川特設カヌー会場	コース長1,500m					—	市	仮設	コース設営等	検討中									
	高等学校野球	硬式	皇子山総合運動公園野球場	土天然芝	中堅122	両翼100	1	881～1,500	15,000	市	改修	スコアボード改修等	R3					⇒				本部室、放送室、事務室、シャワー室、審判員室、更衣室、室内練習場、救護室

第79回国民スポーツ大会 競技施設整備計画【第3次】（案）

会場地 市町	競技名	種目・種別	競技施設名	施設の概要						整備 主体	整備 区分	主な整備内容	整備 年度	(整備年次計画)							付帯施設等
				構造・ 表層	縦 (m)	横 (m)	面数 等	照度 (lx)	観客席数 (固定席)					H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	
彦根市	陸上競技	全種別	(仮称)金亀公園陸上競技場	日本陸連第1種公認陸上競技場 400mトラック、9レーン				1,000	7,000	県	新設	陸上競技場の新設	R元-R4	⇒	⇒	⇒	⇒				補助競技場、更衣室、シャワー室、医務室、放送室、指令室等
	ハンドボール	成年男子 成年女子 少年女子	彦総グリーンアリーナ (彦根総合高等学校体育館)	RC造	27.3	45.4	1	870～ 1,300	—	民間	既設	—	—								
			彦根市スポーツ・文化交流センター	RC造	45	57	2	1,000～ 1,500	1,576	市	新設	体育館の新設	R元-R4	⇒	⇒	⇒	⇒				サブアリーナ、会議室、更衣室等
	弓道	全種別		S造	近的 遠的	10人立ち×1 3人立ち×2		500 以上	—	市	新設	弓道場の新設	R元-R4	⇒	⇒	⇒	⇒				
	なぎなた	全種別	パナソニック株式会社アプライアンス社彦根工場多目的ホール	RC造	45	34.5	2	1,000	—	民間	既設	—	—								会議室、更衣室、和室
長浜市	水泳	オープンウォータースイミング 全種別	長浜市南浜町地先特設会場	オープンウォータースイム5.0km					—	市	仮設	コース整備	検討中								
	バレーボール	ビーチバレーボール 全種別	長浜市豊公園自由広場特設会場	ビーチバレーボールコート5面					—	市	仮設	ビーチバレーボールコート整備	検討中								
	ソフトテニス	全種別	長浜市民庭球場	砂入り人工芝コート16面				528	4,000	市	検討中	検討中	検討中								クラブハウス (放送設備、会議室等)、日除け
	相撲	全種別	長浜バイオ大学ドーム (滋賀県立長浜ドーム)	RC造	74	120	1	800～ 900	1,762	県	改修	人工芝の張替	R元	⇒							練習室、会議室、更衣室、シャワー室、トレーニング室
	柔道	全種別	長浜伊香ツインアリーナ	RC造 一部S造	42	30	3	750	907	市	改修	新アリーナの増築	H30-R元	⇒	⇒						事務室、授乳室、医務室、トレーニング室、多目的室兼会議室、更衣・シャワー室等

第79回国民スポーツ大会 競技施設整備計画【第3次】（案）

会場地 市町	競技名	種目・種別	競技施設名	施設の概要					整備 主体	整備 区分	主な整備内容	整備 年度	（整備年次計画）							付帯施設等
				構造・ 表層	縦 (m)	横 (m)	面数 等	照度 (lx)					H30R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
近江八幡市	バレーボール	少年男子	近江八幡市立運動公園体育館	RC造	42	36	2 1	1,600	532	市	改修	床改修、遮光対策、照明改修	R2-R3		⇒	⇒				会議室、更衣室、シャワー室、放送室
	ハンドボール	少年男子 少年女子	あづちマリエート	RC造	46	36	1	1,200	252	市	改修	床改修、吊天井・照明改修、防護マット・防球ネット・防球カーテン設置	R2 R4		⇒	⇒				会議室、更衣室、シャワー室、放送室
	軟式野球	成年男子	近江八幡市立運動公園野球場	土 天然芝	中堅 120	両翼 95	1	—	2,000	市	改修	スコアボード改修、ダッグアウト前フェンス設置、ファールボール設置、グラウンド改修	R5				⇒			本部席、放送室
	トライアスロン	全種別	近江八幡市特設トライアスロン会場	スイム1.5km、バイク40km、ラン10km					—	市	仮設	コース設営	R6 R7					⇒	⇒	
草津市	水泳	競泳・全種別 飛込・全種別 水球・全種別 アーティスティックス イミニング・少年女子	(仮称)草津市立プール	日本水泳連盟公認プール(屋内・温水) ・50m:10コース、水深0～3m(可動床) ・25m:6コース、水深1.10～1.35m ・飛込:25.02m×16.66m、水深4～5m					1,326	市	新設	プールの新設	R3-R6			⇒	⇒	⇒	⇒	選手控室、更衣室、飛込ドライランド、トレーニングルーム、キッズスペース等
	バレーボール	成年男子 成年女子	草津市立総合体育館	RC造	48.6	44.8	2	2,000	770	市	改修	床研磨・塗装	R4				⇒			会議室、更衣室、シャワー室、トレーニング室、柔道場、剣道場、幼児運動室、授乳室
			YMITアリーナ (くさつシティアリーナ)	RC造	50	40	2	1,515	1,884	市	新設	体育館の新設	H29-H30	⇒						研修室、会議室、多目的室、医務室、キッズルーム、コミュニティラウンジ
	バスケットボール	少年女子																		
	軟式野球	成年男子	草津グリーンスタジアム	土 人工芝	中堅 122	両翼 98	1	—	355	市	改修	スコアボード改修、人工芝の張替	R2 R4		⇒	⇒				本部席、放送室、医務室、更衣室、ミーティング室
	ソフトボール	少年男子	草津市立野村運動公園グラウンド	土	中堅 76.2	両翼 76.2	2	—	—	市	改修	防球ネット設置	R2		⇒					会議室、倉庫
守山市	サッカー	少年男子	野洲川歴史公園サッカー場 (ビッグレイク)	天然芝 人工芝	105	68	3	130～ 200	1,700	市	改修	人工芝の張替	R4-R5				⇒	⇒		クラブハウス、会議室、サロンのルーム、ロッカー室、シャワー室、救護室等
	バレーボール	少年女子	守山市民体育館	RC造 一部S造	42	36	2	700	937	市	改修	床研磨、遮光対策、照明改修、床支柱穴設置	R元 R6	⇒				⇒		会議室、更衣室、放送室、救護室、シャワー室等
	軟式野球	成年男子	守山市民球場	土 人工芝	中堅 123	両翼 100	1	—	1,344	市	既設	—	—							更衣室、シャワー室、救護室、審判室、役員室等
	ソフトボール	少年女子	守山市民運動公園ソフトボール場	土	中堅 69	両翼 69	1	—	—	市	改修	防球ネット改修	R4			⇒				

第79回国民スポーツ大会 競技施設整備計画【第3次】（案）

会場地 市町	競技名	種目・種別	競技施設名	施設の概要						整備 主体	整備 区分	主な整備内容	整備 年度	(整備年次計画)							付帯施設等	
				構造・ 表層	縦 (m)	横 (m)	面数 等	照度 (<small>ルクス</small>)	観客席数 (固定席)					H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6		R7
栗東市	レスリング	全種別	栗東市民体育館	RC造 一部S造	35	45	4	1,400	500	市	改修	床改修、屋根防水 改修、照明改修等	R3-R4				⇒	⇒				更衣室、会議 室、放送室、談 話室、救護室、 トレーニング ルーム等
	ゴルフ	成年男子	琵琶湖カントリー倶楽部	18ホール					—	民間	既設	—	—								控室、更衣室、 浴室	
甲賀市	軟式野球	成年男子	甲賀市民スタジアム	土 人工芝	中堅 122	両翼 100	1	400～ 750	966	市	改修	防球ネット改修、 グラウンド改修	H30-R6	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	本部室、来賓 室、事務室、医 務室、更衣室、 シャワー室、会 議室、控室等
	高等学校野球	軟式																				
	ゴルフ	少年男子	ベアズパウ ジャパン カント リークラブ	18ホール					—	民間	既設	—	—							クラブハウス (更衣室、レス トラン、会議 室、浴場)、練 習場等		
野洲市	バスケットボール	成年女子	野洲市総合体育館	RC造 一部S造	51.2	38.4	2	2,500	1,216	市	改修	床改修、遮光対策 等、エレベー ター・トイレ等バ リアフリー化	R4-R5					⇒	⇒		小アリーナ、柔 剣道場、会議 室、控室、救護 室、幼児体育 室、更衣室、 シャワー室	
	卓球	全種別					12															
湖南市	剣道	全種別	湖南市総合体育館	RC造	45.3	36.5	2	637	456	市	既設	—	—								更衣室、控室、 会議室	
高島市	ウエイトリフティング	全種別	県立安曇川高等学校体育館	RC造	27	38.1	1	590	—	県	既設	—	—									
	ソフトボール	成年女子	今津総合運動公園第1グラウン ド	土	130	115	1	285	—	市	改修	検討中	検討中									
			今津総合運動公園第2グラウン ド	土	150	150	1	—	—	市	既設	—	—									
	銃剣道	全種別	新旭体育館	RC造	41	30	1	582	—	市	改修	照明改修	R3				⇒				事務室、ミー ティング室、更 衣室	
	高等学校野球	軟式	今津スタジアム	土 天然芝	中堅 122	両翼 100	1	320	2,900	市	改修	スコアボード改 修、スタンドベン チ改修、ダッグア ウト改修	R2			⇒					会議室、本部 室、記録室、更 衣室、審判控 室、選手控室、 シャワー室	

第79回国民スポーツ大会 競技施設整備計画【第3次】（案）

会場地 市町	競技名	種目・種別	競技施設名	施設の概要						整備 主体	整備 区分	主な整備内容	整備 年度	(整備年次計画)							付帯施設等
				構造・ 表層	縦 (m)	横 (m)	面数 等	照度 (lx)	観客席数 (固定席)					H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	
東近江市	サッカー	成年男子	東近江市総合運動公園布引陸上競技場	天然芝	71	106	1	—	1,800	市	既設	—	—							会議室、医務室、更衣室、放送室、貴賓室、シャワー室等	
			京セラ株式会社滋賀八日市工場総合グラウンド	天然芝	158	164	2	—	—	民間	既設	—	—							研修棟（会議室等）	
	ボクシング	全種別	東近江市能登川アリーナ	RC造 一部S造	35	42	2	593	250	市	新設	体育館の新設	H30-R2	⇒	⇒	⇒			多目的室、会議室、研修室、医務室、談話室、更衣室、トレーニング室		
	自転車	ロード 全種別	東近江市特設ロードレースコース	周回コース、1周10km以上						—	市	仮設	コース設営	検討中							
	軟式野球	成年男子	東近江市ひばり公園湖東スタジアム	土 天然芝	中堅 122	両翼 98	1	700～ 1,600	3,500	市	改修	ラバーフェンス改修、トイレバリアフリー化	R4				⇒		審判控室、ロッカールーム、役員室、シャワー室		
	ソフトボール	成年男子	東近江市総合運動公園布引多目的グラウンド	土	80	80	2	600～ 1,180	—	市	改修	防球ネット改修	R4-R5				⇒	⇒	会議室、更衣室（シャワー付）、医務室		
	カヌー	スプリント 全種別	東近江市能登川水車とカヌーランド	コース長500m以上、9レーン						—	市	検討中	検討中	検討中							
ゴルフ	女子	名神八日市カントリー倶楽部	18ホール						—	民間	既設	—	—					控室、更衣室、浴室			
米原市	ホッケー	全種別	OSPホッケースタジアム（県立伊吹運動場）	人工芝	65	107	1	200	500	県	改修	人工芝の張替、散水設備改修、照明設備改修	H30-R2	⇒	⇒	⇒			多目的室、更衣室、シャワー室		
			米原市伊吹第1グラウンド	人工芝	115.8	83.5	1	320	600	市	改修	人工芝生化	H30	⇒					倉庫		
日野町	軟式野球	成年男子	大谷公園野球場	土 天然芝	中堅 115	両翼 90	1	—	—	町	改修	フェンス・ダッグアウト等ラバー設置、マウンドの高さ調整、スコアボード改修等	H30 R4	⇒			⇒		本部室、器具庫、放送室、審判員室		
竜王町	スポーツクライミング	リード 全種別	竜王町総合運動公園	リードウォール2面						—	町	仮設	ウォール設置等	R7					⇒		
		ボルダリング 全種別		ボルダリングウォール2基						—	町	仮設	ウォール設置等	R7					⇒		
愛荘町	アーチェリー	全種別	愛荘町スポーツセンター秦荘グラウンド	土	106	148	1	200	—	町	仮設	防矢ネット、安全柵設置	検討中						体育館、武道館		

第79回国民スポーツ大会 競技施設整備計画【第3次】（案）

会場地 市町	競技名	種目・種別	競技施設名	施設の概要						整備 主体	整備 区分	主な整備内容	整備 年度	(整備年次計画)							付帯施設等	
				構造・ 表層	縦 (m)	横 (m)	面数 等	照度 (lx)	観客席数 (固定席)					H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6		R7
(所在地) 甲賀市 (準備運営) 大津市、甲賀市	サッカー	少年女子	甲賀市水口スポーツの森陸上競技場	天然芝	105	68	1	—	754	市	既設	—	—									ロッカールーム、会議室、シャワー室、指導員室、写真判定室等
(所在地) 京都府向日市 (準備運営) 滋賀県	自転車	トラック 全種別	向日町競輪場	RC造	1周400m				—	府	既設	—	—									選手宿舎
(所在地) 野洲市、湖南市、竜王町 (準備運営) 滋賀県	ラグビーフットボール	全種別	滋賀県希望が丘文化公園	天然芝 人工芝	120	70	3	—	500	県	改修	天然芝の改修等	R2-R5			⇒	⇒	⇒	⇒			更衣室、シャワー室、会議室、放送室
(所在地) 彦根市 (準備運営) 豊郷町、甲良町、多賀町、彦根市、滋賀県	ボウリング	全種別	ラピュタボウル彦根	RC造	30レーン			540	—	民間	既設	—	—									